



Light Sheer DESIRE

レーザー減毛におけるポイント



有効性

多くの患者（様々なスキントイプ/毛のタイプ）に治療ができ、良好な治療結果を提供します。

治療の安全性

副作用を避け、安全性を担保します。



治療速度

速い治療により、施術時間を短縮し、時間効率を最大限にします。

快適な治療

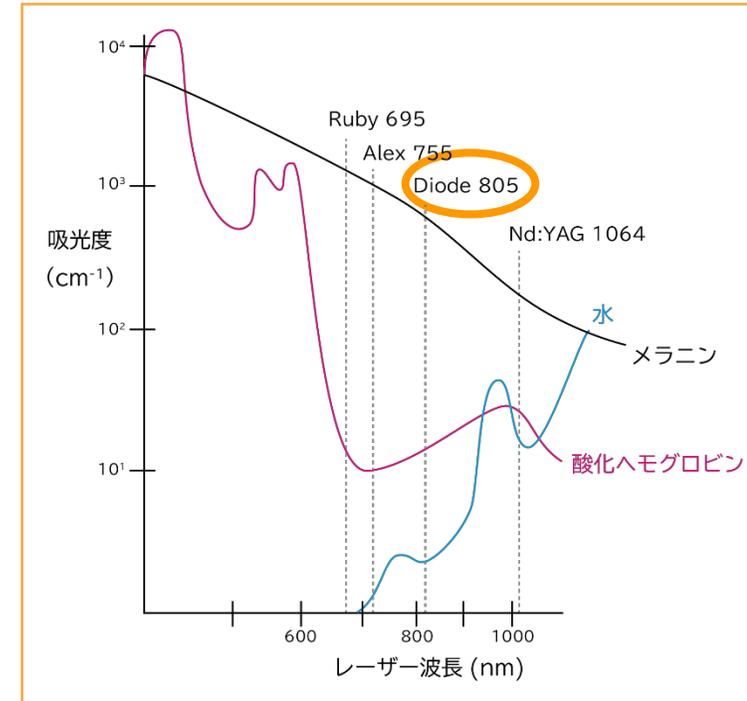
治療の痛みを最小限に抑えます。

LightSheer®の歴史

- 1997** LightSheerパルスダイオードアレイが **“hair reduction”** で米国食品医薬品局（FDA）の承認を取得
- 1999** **全スキンタイプ**（I-VI）の **“permanent hair reduction”** でFDA承認を取得
- 2001** **“hair removal”** でFDAの承認を取得
- 2004** スキンタイプVIの最適な治療用の**400ms**を発売
- 2009** 大きいスポットサイズとHigh Speed（HS）ハンドピースを加えた**LightSheer® Duet™**を発売

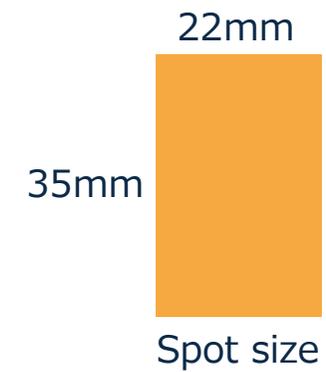
Diodeの採用

- メラニン吸収に優れている波長805nm
- 耐久性があり小型化が可能
- * レーザを励起させる為のフラッシュランプが不要です。
- * 耐久性があり、小型化が可能のため、機器の移動が簡便です。



2種類のハンドピース/HSハンドピース

- 吸引アシスト
- 痛みの少ない治療
- 施術時間の短縮
- ジェル・クーリング不要

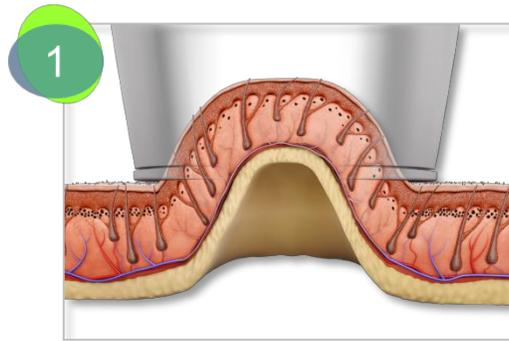


HSハンドピース High-Speed Integrated Technology (HIT™)



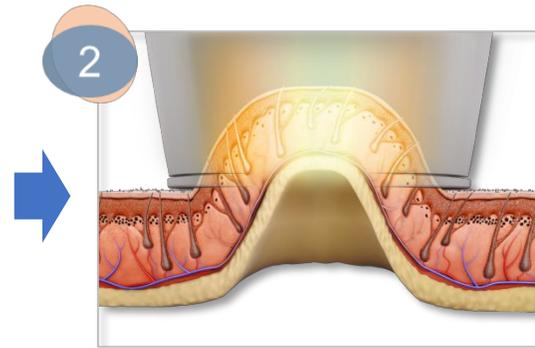
HSハンドピースは皮膚を吸引してレーザー光を照射します。
吸引によって痛みが大幅に軽減され、広範囲の面積を短時間で施術できます。

【 吸引 】



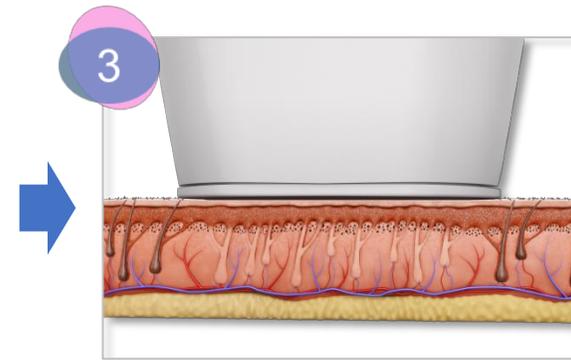
皮膚を吸引します

【 照射 】



レーザーを照射します

【 終了 】

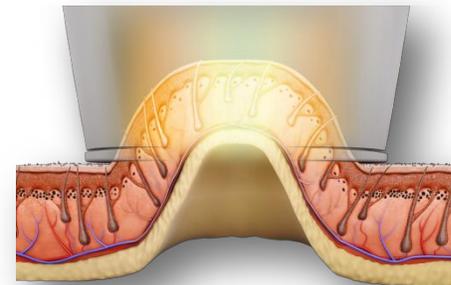
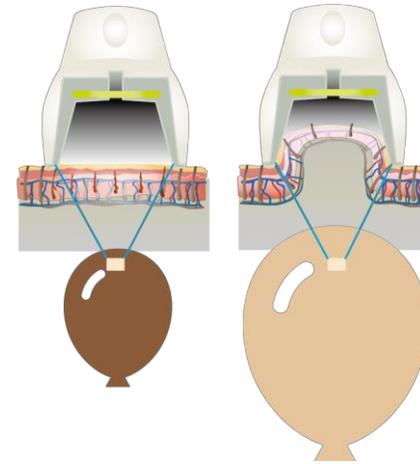


吸引を終了します

吸引アシストのメリット



- 皮膚が伸展され、**表皮メラニンの密度を減少**させます。
- **血流が遮断**されるため、競合する酸化ヘモグロビンへの反応を抑えることができます。
- ターゲットの毛や毛包までの距離が縮まります。



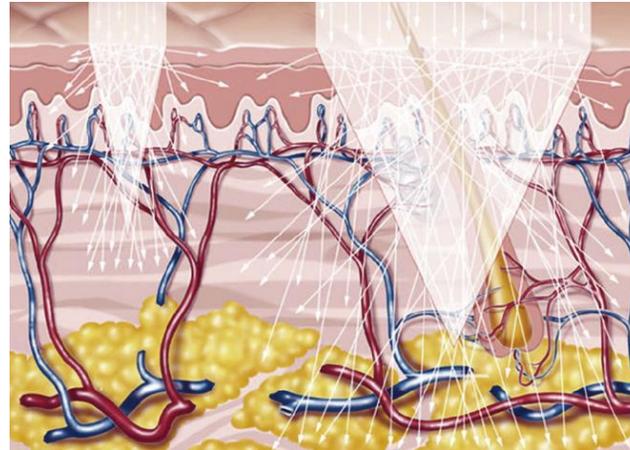
低いエネルギーで効率よくターゲットに十分な損傷を与えます。

大口徑によるメリット



- レーザの深達性は、口径が大きいほど、光子の相互作用の割合が増え、エネルギー(光)が増幅するため、効果的に**深い層までの加熱**ができます。これにより、大きい口径では**低フルエンス**での照射が可能になります。
- 大口徑により、**治療時間を短縮**します。

小さいスポット
表面に近い光の到達



大きいスポット
深部までの光の到達

2種類のハンドピース/ETハンドピース

- 高フルエンス（～100J/cm²）
- ChillTip™による表皮の保護
- 痛みや不快感の軽減
- 最高3Hzの照射スピード



9mm
9mm 
Spot size

ChillTip™によるコンタクトクーリング



■ 安全性の向上

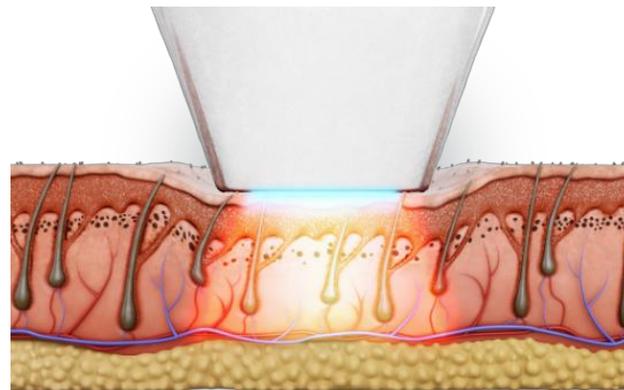
ChillTip™コンタクトクーリングにより、表皮が保護されます。

■ 快適性の向上

照射面（皮膚）が冷却されることで、不快感を軽減することができます。

■ 有効性の向上

高フルエンスにより、軟毛の治療も可能です。



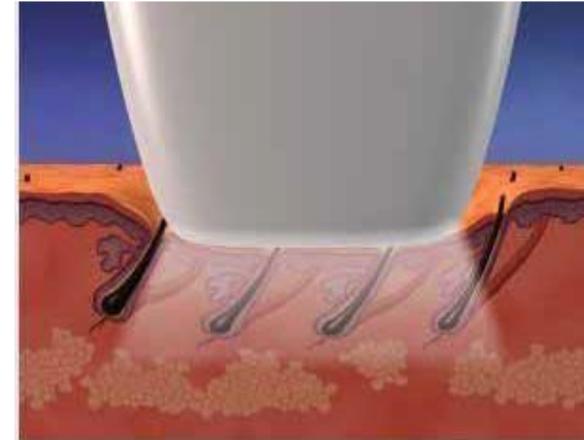
皮膚を照射前および照射中に冷却します。

ETハンドピース 有効性の向上のための照射テクニック



ETハンドピースは皮膚を圧迫しながら照射します。

- 毛包までの距離が近くなります。
- 血流が遮断されるため、競合する酸化ヘモグロビンへの反応を抑えることができます。



選択的にメラニンへレーザー光を吸収させる事が出来ます。



LIGHTSHEER

by  Lumenis®

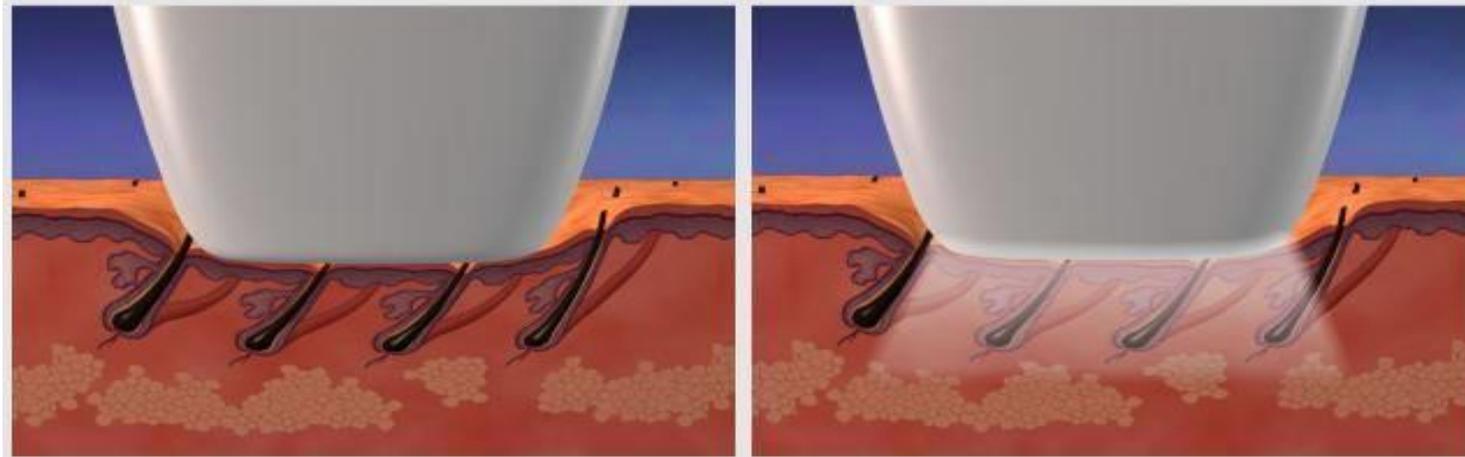
This is how **confidence** feels



高いエネルギーとコンタクトクーリング

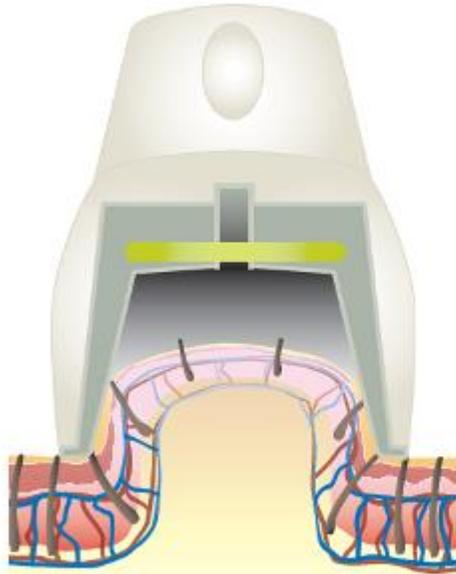
ET ハンドピース

- ChillTipコンタクトクーリングによる冷却効果
 - ✓ 毛細血管を収縮させ酸化ヘモグロビン量を減少
→ ターゲットをメラニンに集中させることが可能
 - ✓ 毛細血管による熱伝導を抑えることで、エネルギーロスを減少
 - ✓ 照射面を押し当てることで、レーザー深達度を高め、より深い部分の毛胞へダメージを与える
- コンタクトクーリングと圧迫により疼痛軽減

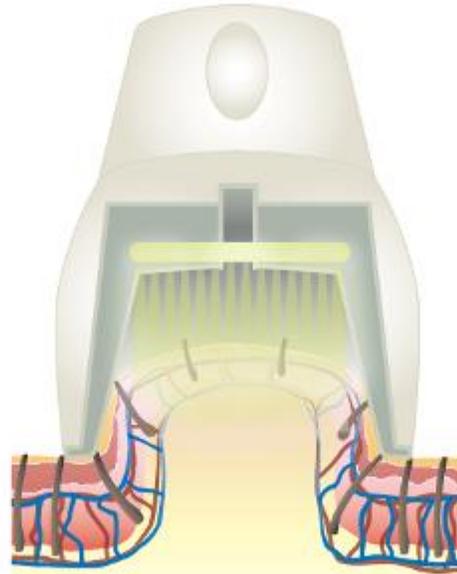


低いエネルギーと吸引技術

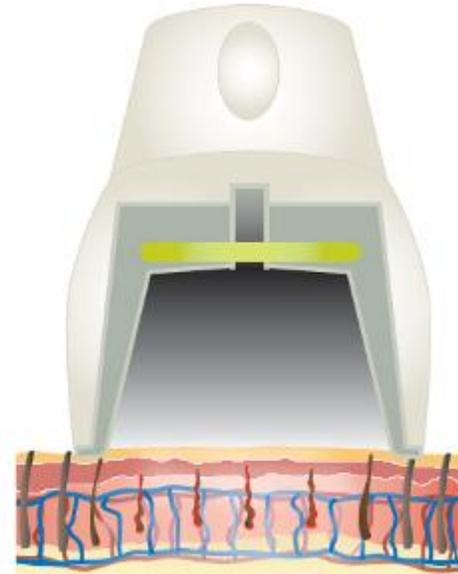
HS ハンドピース



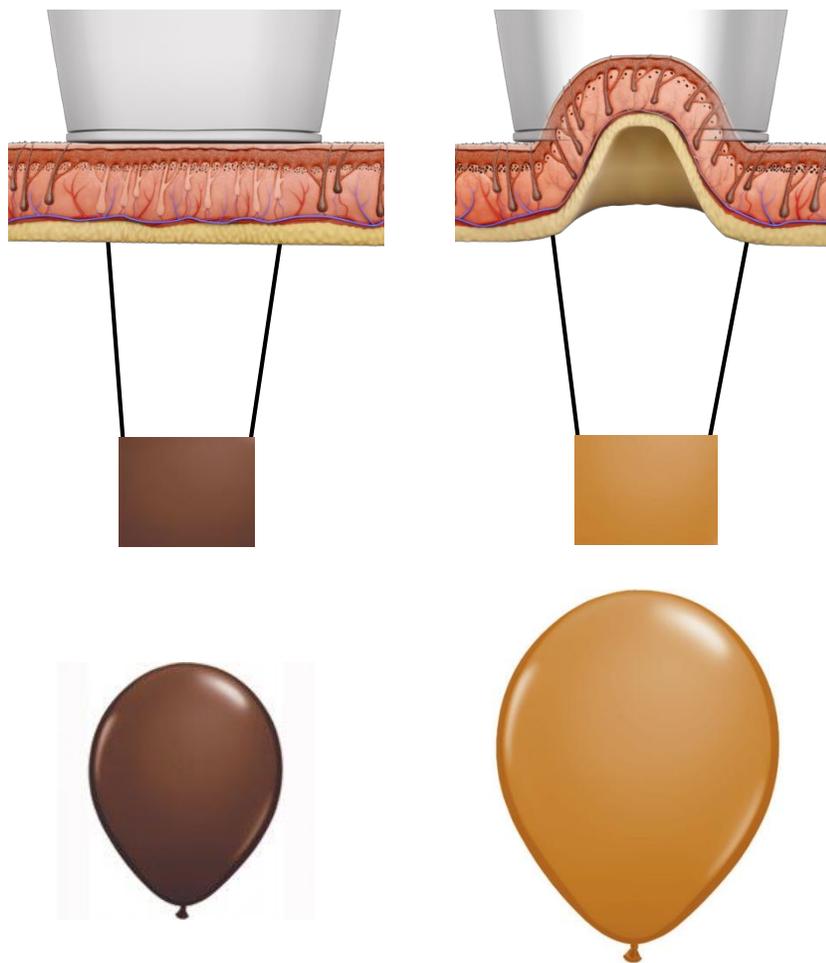
- 皮膚をハンドピース内に吸引
- 皮膚を伸展させる
- 毛幹部を表面に引っ張り上げる
- 毛細血管の血流を抑制すると同時に表皮のメラノソーム容積密度を減少



- レーザ照射
- 他のクロモファを減少させ、毛幹のみ選択的にレーザー照射
- 毛幹部が熱損傷をうける



- 皮膚の吸引解除
- ハンドピースを次の部位へ移動させる



皮膚を吸引により伸展することで、毛幹及び毛包への光吸収と競合する表皮のメラノソームの容積密度を減少させる。

副作用

- 熱傷による痂皮、または水疱
- 照射部位の色素の変化（色素沈着、色素脱失）
- 過度の腫脹
- 過敏な皮膚反応（炎症による赤みや吹き出物）
- 掻痒感、毛包周囲の赤み
- 毛嚢炎、埋没毛
- 紫斑形成（稀ですが、毛細血管が破壊され、起こると考えられます）